本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。



製品仕様

水晶発振周波数：32,768Hz
常温携帯精度：常温時に於いて平均月差±10秒以内（15℃～35℃）
表示方式：ＦＥ型液晶デジタル表示
基本機能：時刻表示＝時・分・秒・午前／午後・曜日
カレンダー表示＝年・月・日・曜日(年は西暦年の下２桁を表示)
ストップウォッチ：計測単位＝1/100秒
機能　計測範囲＝６時間59分59秒99（以後０に戻り自動スタート）
計測機能＝通常計測・積算計測・ラップ計測・1･2着 同時計測
デュアルタイム機能：表示内容＝時・分・秒・午前／午後
セット機構：時刻・カレンダーセット機構　秒合わせ機構(±30秒クリア)
デュアルタイムセット機構
その他：24時間制表示機能
完全無修正フルオートカレンダー機能
主要回路素子：音叉型高性能水晶振動子　ワンチップC/MOS-LSI
使用電池：酸化銀電池（UCC-392）１個　電池別途販売
電池寿命：約15ヵ月（ライトを１日５秒点灯した場合）

ご使用上の注意

カシオトロンをいつまでも高精度でご愛用いただくため、下記の点を特にご留意ください。
(1) 極端に高い温度や、極端に低い温度条件下ではご使用にならないでください。機能が低下したり電池寿命を短くしたりする恐れがあります。
(2) 水が入りにくい構造になっていますが、精密な電子回路や部品を保護するために、入浴や海水浴、洗車時などの不確定な水圧が加わる恐れのあるときのご使用は避けてください。
(3) 通常の使用状態でのショックには耐えるよう設計されていますが、落としたり強い衝撃を与えますと故障の原因となりますので十分ご注意ください。
(4) この腕時計は、C/MOS-LSIや水晶振動子、それに液晶パネルなどの精密パーツで構成され組立てられていますので、時計の内部には絶対手をふれないでください。
(5) このカシオトロンを腕から外したり、長期にわたってお使いにならないときは……
(a) 寒冷地や夏場の直射日光が当る場所には放置しないでください。
(b) 水蒸気がたったり、たちこめるような湿気が極端に多い場所で長時間放置したり、保存しないでください。
(c) 消耗した電池を入れたままにしておきますと、故障の原因になります。長時間お使いにならないときは電池を抜くか、約15ヵ月に一度電池を入れかえながら保存してください。なお、電池の出し入れは絶対にご自分でなさらないでください。
(6) ボタン操作は確実におこなってください。
(7) このカシオトロンに使用しているメタルバンドも汗やホコリでよごれます。汗をかいたときは、吸湿性の良い布などで水分を取り除いてください。また、ときどきは柔らかい歯ブラシ等を使い石けん水で部分洗いなどのお手入れをお願いします。（その際、時計本体には水がかからないようご注意ください。）

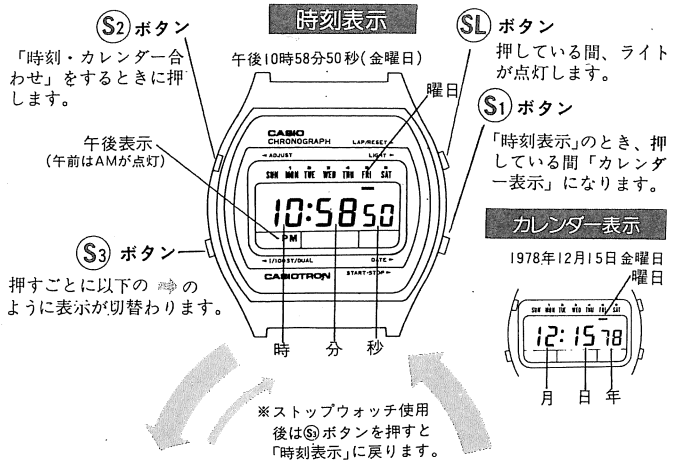
電池交換について

最初の電池は工場出荷時に組み込まれていますので、15ヵ月に満たないうちに寿命がきれることがあります。
電池が消耗しますと「内部照明のライトが点灯しなくなったり」「急に遅れが目立ったり」「表示が消えたり」「見にくくなります」このような症状があらわれたら電池交換を行なってください。
新しい電池とお取りかえいただきますとその後、約15ヵ月ご使用になれます。
電池交換は、精度や寿命、気密性の維持上必らずお求めのお店かお近くのカシオトロン取扱い店あるいは当社営業所・出張所・サービスセンターにお申しつけいただき当社指定のカシオトロン専用電池（UCC-392・別途販売です）と交換してください。
カシオトロン専用電池以外の電池をご使用しますと時計の正常な働きをさまたげ、故障の原因ともなりますのでご注意ください。

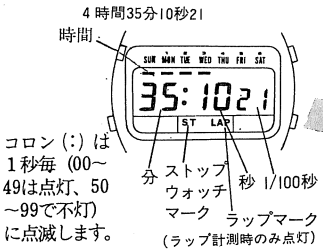
液晶パネルの交換について

この時計には高品質のFE型液晶パネルを使用しておりますが、液晶はその性格上5年すぎますと、コントラストが低下したり、読みにくくなることがあります。その場合はお買いあげ店、またはカシオトロン取扱店へ交換をお申しつけください。実費にて申し受けます。

表示の見方と操作のしくみ

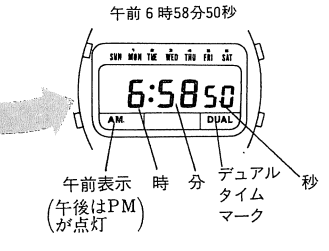


ストップウォッチ表示



※計測範囲＝6時間59分59秒99。以後0に戻ります。

デュアルタイム（別時計）表示



※Ⓢ1ボタンを押しても「カレンダー表示」になりません。

■ストップウォッチの使い方

Ⓢ3 ボタンを押し、ストップウォッチ表示（STが点灯）にします。

●通常の計測

〈スタート〉 Ⓢ1 ボタンを押す ……計測開始。（コロンが点滅し始めます）
〈ストップ〉 Ⓢ1 ボタンを押す ……計測停止。（コロンの点滅が止まります）
〈リセット〉 ⓈL ボタンを押す ……表示が0に戻ります

※ロスタイムがある場合（積算計測のしかた）
ストップ後、リセットせずに再スタート（Ⓢ1 ボタンを押す）すれば、表示タイムに引き続き計測をはじめます。

●ラップタイム（途中経過時間）の計測

〈スタート〉 Ⓢ1 ボタンを押す ……計測開始。（コロンが点滅し始めます）
〈ラップ計測〉 ⓈL ボタンを押す ……ラップタイムが表示されます（LAPが点灯します）
〈ラップ解除〉 ⓈL ボタンを押す ……ラップが解除されます（LAPは消えます。）
〈ストップ〉 Ⓢ1 ボタンを押す ……最終タイムが表示されます（コロンの点滅が止まります）
〈リセット〉 ⓈL ボタンを押す ……表示が0に戻ります

●1着・2着のタイム 計測

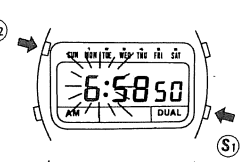
〈スタート〉 Ⓢ1 ボタンを押す…計測開始。（コロンが点滅し始めます）
〈1着がゴール〉 ⓈL ボタンを押す…1着のタイムが表示されます（LAPが点灯します）
〈2着がゴール〉 Ⓢ1 ボタンを押す…表示はそのままです（コロンの点滅が止まります。）
〈2着のタイムは〉 ⓈL ボタンを押す…2着のタイムが表示されます（LAPは消えます）
〈リセット〉 ⓈL ボタンを押す…表示は0に戻ります

※ストップウォッチ計測中にⓈ2ボタンを押して、時刻表示あるいはデュアルタイム表示にしても計時には一切影響はありません。

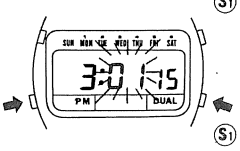
■デュアルタイム（別時計）の合わせ方

Ⓢ3 ボタンを押し、デュアルタイム表示（DUALが点灯）にします。

(1) デュアルタイム（別時計）表示のときⓈ2ボタンを押すと「時」が点滅します。Ⓢ1ボタンを押すごとに「時」が1つずつ進みますので合わせたい「時」に合わせます。
※12をすぎるごとにAM、PMが入れかわります。



(2) Ⓢ3 ボタンを押すと「分」が点滅します。Ⓢ1 ボタンを押すごとに「分」が1つずつ進みますので、合わせたい「分」に合わせます。



(3) 「時」・「分」のセットが終わりましたら、Ⓢ2 ボタンを押します。点滅が止まりセット完了です。
※「秒」は「時刻表示」の秒と連動しています。

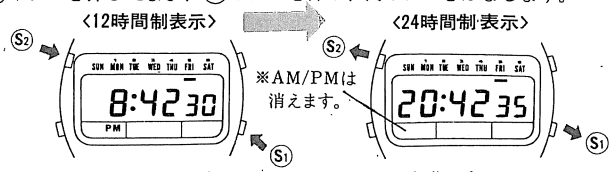


24時間制表示への切替え

「時刻表示」あるいは「デュアルタイム表示」の時刻を以下の操作で24時間制表示に切り替えられます。用途に合わせてお使い分けください。

●切替え方（下図は時刻表示の場合ですが、デュアルタイムのときも操作は同じです。）

Ⓢ1 ボタンを押したまま、Ⓢ2 ボタンを押し、両ボタンをはなします。



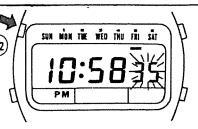
※24時間制表示から12時間制表示に切替える場合も同じ操作です。

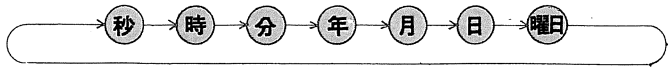
時刻・カレンダーの合わせ方

「時刻・カレンダー合わせ」のときの各ボタンのはたらき

Ⓢ1 ボタン……押すごとに数字あるいは－が進みます。「秒合わせ」では「秒」が00になります。
※押し続けると、押している間、自動的に数字あるいは－が進みます。
Ⓢ2 ボタン……セットの状態にするとき、またもとの時刻表示に戻すとき押します。
Ⓢ3 ボタン……セット個所を選択します。押すごとに点滅個所が移動します。

(1) 時刻表示のときⓈ2ボタンを押すと「秒」が点滅します。
以後、Ⓢ3ボタンを押すごとに、以下の順序で点滅する個所が移動します。点滅している個所がセット可能です。



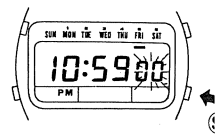


※「分」から「年」へ移るとき、表示は自動的にカレンダー表示にかわります。

「秒合わせ」

(2) 「秒」が点滅しているとき、時報に合わせてⓈ1ボタンを押すと、「秒」は点滅しながら00秒からスタートします。

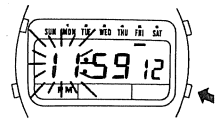
秒表示が00～29のときは切捨てられ、30～59のときは1分くりあがって00秒からスタートします。30秒以内の遅れ進みはこの方法で修正できます。※時報は電話117番が便利です。



●「秒合わせ」だけのときは、続けてⓈ2ボタンを押してください。通常表示に戻ります。
●他の個所も修正するときは、Ⓢ3ボタンを押さず、Ⓢ1ボタンを押してください。「時」が点滅をはじめます。

「時」のセット

(3) 「時」が点滅しているとき、Ⓢ1ボタンを押すごとに「時」が進みますので、合わせたい「時」に合わせます。
※「12時間制表示」のときは、午前／午後の指定をまちがえないようにご注意ください。
「24時間制表示」のときは、0～23の間を進みます。



「分」のセット

(4) 「時」のセットのあとⓈ3ボタンを押すと「分」が点滅しますのでⓈ1ボタンで合わせたい「分」に合わせます。



「年」のセット

(5) 「分」のセットのあとⓈ3ボタンを押すと表示は「カレンダー表示」になり、「年」が点滅しますので、Ⓢ1ボタンで合わせたい「年」に合わせます。
※「年」は1970～2029年までセット可能で、数字は29の次は70に戻ります。



「月」「日」「曜日」のセット

(6) 「時」「分」「年」のセット同様、Ⓢ3ボタンで合わせたい個所を選び、Ⓢ1ボタンで合わせます。



セット完了

(7) セットが終わりましたら、どのセット個所からでもⓈ2ボタンを押せば、点滅は止まりもとの時刻表示に戻ります。



この時計は大の月、小の月、うるう年も自動判別する「完全無修正フルオートカレンダー」ですので、1度カレンダーをセットすれば、電池交換時以外は修正する必要はありません。